

東京大学アマチュア無線部における
感染リスク・感染予防対策に関する指針

平素より東京大学アマチュア無線部の活動におきまして、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は当部の課外活動を、感染防止策を徹底した上で再開させていただきたく、活動をする上で行う感染症対策を以下の通り策定します。

1) アマチュア無線部の工学教育的意義.....	2
2) アマチュア無線部の活動内容・競技特性について	2
① アマチュア無線部の通常の活動形態.....	2
② 感染症の観点から見たアマチュア無線部の活動の特性	3
3) 感染症対策について	4
① 「課外活動再開に向けての本学の方針について※令和3年3月5日追記」の遵守	4
② 各建物、管轄学部学科の規則の遵守.....	4
③ 「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」を策定と遵守	4
4) 無線部の具体的な感染症対策について	6
① 無線通信及びコンテスト参加時の対策.....	6
② 製作活動中の対策.....	7
③ 活動以外での対策.....	9
5) 本活動計画書およびガイドラインの修正.....	9
6) 非常事態について.....	9
7) 参考資料.....	10

1) アマチュア無線部の教育的意義

アマチュア無線部の活動の中では、具体的に以下のようなスキルを身に着けることが可能と考えます。

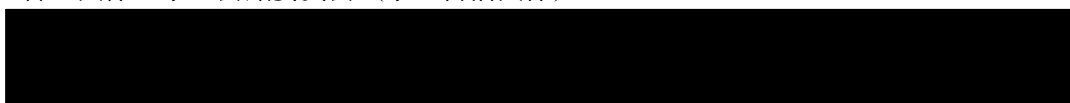

- 無線通信技術の要となる無線工学・高周波回路技術の基礎を理論・実学双方によって習得し、5Gをはじめ今後急速に普及するであろう無線通信・高周波技術開発に寄与することのできる人材を育成することができる。
- 自ら無線設備を測定・検証し、不具合があった際には試行錯誤を重ねて原因を推定して、設備が最適なものとなるように自力で整備を行う。課題解決能力を実技を通じて学ぶことができる。
- コンテストでは、優勝という共通の目標のために、部員同士が互いにコミュニケーションをとって協力して準備を行い、電波伝搬の知識を活かした作戦を立案して、これまで培った工学的能力をもって運用する必要がある。これは日々の知識の習得、鍛錬を部員間で促進させるための目標となる。

これらのアマチュア無線部の活動を通じた具体的な訓練により、「アクティブラーニング」の形で大学における学びの必要性が実感として強化され、「研究・教育を通じた様々な社会貢献によって未来の社会を切り拓いていく」という大学の担う社会的な責務の中心を担うことができると考えます。

2) アマチュア無線部の活動内容・競技特性について

① アマチュア無線部の活動形態

● 場所：

- 駒場キャンパス学生会館 310 号室
 - 管理団体：学生会館委員会（学生自治団体）
 - 
 - レベル 1 時は物品の取り出しのみ行う
- 本郷キャンパス生協第二食堂 
 - 管理団体：本部学生支援課
 - 従前においてはレベル 0.5 での課外活動が認められていた
 - レベル 1 時は使用しない
- 工学部 2 号館ラウンジ
 - 管理団体：2 号館管理委員会
 - コンテストの利用が決まった後、都度、電気系教員会議、2 号館管理委員会に相談して決まる。過去 10 年間、申請を断われたことは無い

➤ 工学部 13 号館一般電子実験室

- 管理者： [REDACTED]
- 教員の承認を得ている

- 時間帯：毎週火曜日 17 時~21 時（レベル 1 時は 19 時まで）
- 部員：東大生 15 人(社会人学生含む)
- 活動内容：無線通信（コンテスト参加）、製作活動（電子工作、プログラミング）

② 感染症の観点から見たアマチュア無線部の活動の特性

- 個人競技であるため身体的接触が少ない
- 製作活動・交信を目的としているので移動が少ない

- 無線通信をするので声を出す必要がある
- 一部の道具は高額であるため共有の必要がある
- 部屋が小さいため密になりやすい

よって、飛沫対策、物品共有に関する対策、部屋への人数制限を行えば安全性を確保できると考えられる。

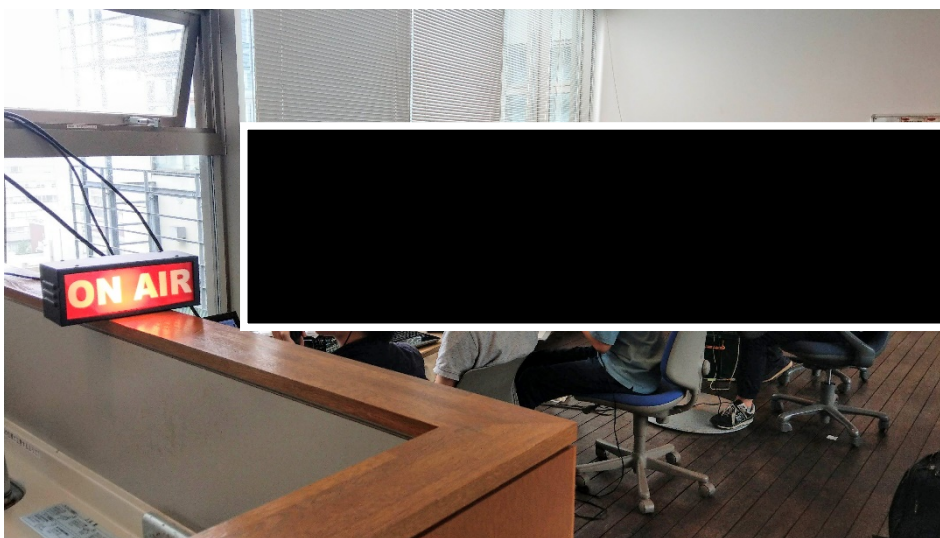


図 1 コロナ禍以前の活動（コンテスト運用）の様子



図 2 コロナ禍以前の活動（製作活動）の様子

3) 感染症対策について

- ① 「課外活動再開に向けての本学の方針について※令和3年3月5日追記」の遵守
「課外活動再開に向けての本学の方針について」を遵守した上で、感染予防対策を行い、当部は活動を行う。
- ② 各建物、管轄学部学科の規則の遵守
当部は利用する建物の規則、管轄する学部学科の策定したコロナ対策規則を遵守する。
- ③ 「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」を策定と遵守
利用する学生において「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」を策定し、それを遵守した上で、活動を行う。

「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」

1. 活動における「三つの密」対策

【密閉】

- 1-1. 利用時は窓や扉を開けた状態にして換気を行う

【密集】

- 1-2. 同時間帯での利用定員は各建物の規則に則る
- 1-3. オンラインで可能な作業はオンラインを基本とする

【密接】

- 1-4. 身体的距離は2m以上を保つ

2. 予防体制

- 2-1. 活動開始時、休憩前後、利用終了時に手洗い、消毒を行う
- 2-2. 活動中も必要に応じて手洗い、消毒を行う
- 2-3. 活動時には常時マスクやフェイスシールドを着用する
- 2-4. 通学時にもマスクやフェイスシールドを着用する
- 2-5. 咳エチケットを順守する
- 2-6. 施設の共用部分、特にドアノブは使用の前後に消毒を行う
- 2-7. 道具の共有を行う際には消毒を行う
- 2-8. 密室での飲食は行わない
- 2-9. 水分補給を行う場合は換気の良い場所で行う
- 2-10. 活動前後にコンパ等の食事を行わない

3. その他

- 3-1. 健康管理者と顧問の教員は感染対策の履行状況を確認し、徹底させる

- 3-2. 利用する学生はスマートフォンがない場合を除き COCOA をインストールする
- 3-3. 出来る限り徒歩、自転車で通学を行う
- 3-4. 公共交通機関を利用する学生は可能な限り混雑時間を避ける
- 3-5. 帰宅時には必ず手洗い・消毒を行う
- 3-6. 新入生の活動参加（体験会や見学会も含む）は4月6日（授業開始日）以降とする。また、手渡しのビラ配布や声掛けなど、不特定多数との接触がある勧誘活動は行わない
- 3-7. 健康管理者は体温の情報は個人情報であることに十分留意し、必要な範囲で教員に報告する以外で外部に漏らさず、利用の判断を行う目的以外で閲覧、利用しない
- 3-8. 新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、教員に報告をする。必ず、個人情報の流出やプライバシーを配慮する。また、差別や不利益がないようすべての学生が努力する
- 3-9. 部員の個別の事情に配慮する

4) 無線部の具体的な感染症対策について

① 無線通信及びコンテスト参加時の対策

まず、当部の活動の一つであるコンテスト参加時の感染症対策について記述する。

コンテストとは規定の時間内に多くの無線局と交信することで得点を競うものである。当部では「マルチオペ」と呼ばれる参加形態を取り、複数人がそれぞれの無線機の前に座って同時に運用する。

運用には無線機のほか、マイクや電鍵などの入力装置や、記録用のPC、アンテナを必要とする（図3）。アンテナは学生会館屋上に設置してあるもの（図4）を用いるか、または同様に見晴らしの良い場所に仮設置して用いる。



図3 工学部2号館12階ラウンジにおける運用の様子



図4 学生会館屋上に設置のアンテナ

以下ではコンテストにおける具体的な感染症対策を「活動前」「活動中」「活動後」の3つに分ける形で記載する。

(ア)活動前

- 『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』に基づき、検温を実施、健康管理担当者は活動参加者の体調記録を確認し、発熱などの症状がある場合は参加させない（『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』にも明記）。
- 徒歩や自転車で通える部員には公共交通機関を使わないことを推奨する。
- 部員には熱中症などには気を付けながらのマスクの着用を徹底させる。
- 活動場所にアルコール消毒液、道具消毒用ウェットティッシュを準備する。
- 到着後は手指のアルコール消毒を徹底させる。
- 準備中は他の部員と2m以上の距離を保つ。

(イ)活動中

- 参加人数：

換気能力調査の上限または各建物管理者の指示に従い、活動前にシフト表を作成し、一度に入室する人数を制限する。具体的には、各活動場所で以下の通りとする。ただし、工学系の基準（レベル1時：1人/15平米、レベル0.5時1人/10平米）をもとに算出した。

活動場所	レベル0.5時	レベル1時
駒場学生会館310号室	2人	使用不能※1
生協第2食堂2号室	3人	使用不能※2
工学部2号館ラウンジ	3人	2人
工学部13号館一般電子実験室 (1ゾーンあたりの人数)	3人	2人

※1 教養学部の指針によりレベル1時は使用できない

※2 本部学生支援課の指針によりレベル1時は使用できない

- 道具の共用：

コンテスト中は、図1に示したマイク、電鍵、ヘッドホン、PC、無線機を共用し、運用者の交代に伴って複数人が触れる。したがって運用を代わる際は、それまでの運用者が自ら触れた部分をウェットティッシュで消毒する。また、運用の前後で手指の消毒を行う。

- 活動中は他の部員と2m以上の距離を保つ。
- 発声に伴う飛沫感染防止のため、常にマスクを着用する。
- 30分に1回程度、運用中の部屋を換気する。

(ウ)活動後

- 片付け中は他の部員と2m以上の距離を保つ。
- 施設内の共用箇所（窓や扉の取っ手など）はアルコール消毒する。
- 退出前は手指のアルコール消毒を徹底させる。

② 製作活動中の対策

当部における製作活動には、電子工作・プログラミング開発等が含まれる。

電子工作は、無線機やアンテナ、オーディオ機器その他の製作を行う。そのため本郷第二食堂2号室や工学部13号館の測定器(図5)や工作機械(図6)を使用する。



図5 本郷第二食堂2号室の計測器



図6 本郷第二食堂2号室の工作機械

以下では製作活動における具体的な感染症対策を「活動前」「活動中」「活動後」の3つに分ける形で記載する。

(ア)活動前

- 『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』に基づき、検温を実施、健康管理担当者は活動参加者の体調記録を確認し、発熱などの症状がある場合は参加させない(『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』にも明記)。
- 徒歩や自転車で通える部員には公共交通機関を使わないことを推奨する。
- 自宅で行える作業は自宅で行うようにする。
- 部員には熱中症などには気を付けながらのマスクの着用を徹底させる。
- 活動場所にアルコール消毒液、道具消毒用ウェットティッシュを準備する。
- 到着後は手指のアルコール消毒を徹底させる。
- 準備中は他の部員と2m以上の距離を保つ。

(イ)活動中

- 参加人数：
換気能力調査の上限または各建物管理者の指示に従い、一度に入室する人数を制限する。
- 道具の共用：
測定器及び工作機械は複数人が触れる。したがって使用後はできる限りウェットティッシュで消毒する。また、使用の前後で手指の消毒を行う。
- 活動中は他の部員と2m以上の距離を保つ。
- 発声に伴う飛沫感染防止のため、常にマスクを着用する。
- 30分に1回程度、運用中の部屋を換気する。

- 工学部 13 号館を利用する場合は、『一般電子工学実験室 コロナウイルス感染症対応研究室 マニュアル』を熟読し、遵守する。

(ウ)活動後

- 片付け中は他の部員と 2m 以上の距離を保つ。
- 施設内の共用箇所（窓や扉の取っ手など）はアルコール消毒する。
- 退出前は手指のアルコール消毒を徹底させる。

③ 活動以外での対策

- 日常生活で感染症対策として意識すべきこと（「夜の街」への外出自粛、手洗いうがい、活動前後の不要不急の外出自粛）を部員に周知する。
- ミーティングはすべてオンラインで実施する。
- 部員間での外食は自粛するように周知する。
- 感染が多く報告されている繁華街での外食等を禁止させる。
- コンパなどは当面の間禁止。オンラインでは可。
- 部員向けに、遵守してもらいたいことをまとめたリストを作成し、ルールの完璧な理解を促す。

5) 本活動計画書およびガイドラインの修正

この活動計画書およびガイドラインは感染拡大の状況や COVID-19 に対する状況に応じて変更する必要がある。その際の変更は以下のように行う。

1. 健康管理者が中心になって改定案を作成
2. 部会において承認を行う

6) 非常事態について

感染拡大の状況によっては利用を停止せざるを得ない状況になる場合がある。その場合には学生の意見を聴取しつつ、顧問教員の命令で停止させることが可能である。

また、利用した者の中に感染者が出た場合は 2 週間の対面における活動を停止する。

7) 参考資料

- [1]. 東京大学(2020) 「課外活動再開に向けての本学の方針について※令和3年3月5日追記」, <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/policy-about-restart-of-activities.html> ,2021/03/09 閲覧
- [2]. 太田邦史 (2020) 「課外活動の再開にあたっての注意」, https://www.c.u-tokyo.ac.jp/COVID19_20200731.pdf ,2021/03/02 閲覧
- [3]. 東京大学 (2020) 「学生の皆さんへ 理事・副学長メッセージ ～活動制限「レベル0.5」における、東京大学の対面授業や課外活動等の再開等に係る考え方について」, <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/COVID-19-message-20200715.html> ,2021/03/02 閲覧
- [4]. 東京大学教養学部 (2020) 「【3/22 更新】駒場 I キャンパスにおける課外活動施設の一部利用再開について」, <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/facilities-corona.html> , 2021/03/26 閲覧
- [5]. 東京大学運動会男子フィールドホッケー部 (2020) 「活動計画書」, [https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書\(運動会男子ホッケー部\).pdf](https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書(運動会男子ホッケー部).pdf) , 2021/03/01 閲覧
- [6]. 東京大学書道研究会(2020) 「活動計画書」, [https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書\(書道研究会\).pdf](https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書(書道研究会).pdf) , 2021/03/01 閲覧
- [7]. 一般社団法人日本経済団体連合会(2020) オフィスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン, https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/040_guideline1.html , 2021/03/02 閲覧
- [8]. 東京大学(2020) 「一般電子工学実験室 コロナウイルス感染症対応研究室マニュアル」, http://ippan01.if.t.u-tokyo.ac.jp/covid19/manual_level1_v2.html , 2021/03/02 閲覧